

## 臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

### [研究課題名]

眼サルコイドーシスにおける視機能予後推定のための機械学習モデル構築の試み

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究責任者所属・氏名] 北海道大学病院 眼科・南場 研一

### [研究の目的]

当院が代表機関となり 2017年10月17日から2018年3月31日まで実施された臨床研究「眼サルコイドーシスに伴うぶどう膜炎患者の実態調査」（自017-0181）で収集した眼サルコイドーシスの患者さんの情報をもとに、人工知能（AI）の技術を活用して「視力が下がるリスクが高い人」や「視野が悪くなるリスクが高い人」を予測するモデルを作ります。これにより、より早く適切な治療を行い、視力を守ることを目指しています。

### [研究の方法]

#### ○対象となる患者さん

当院が代表機関となり2017年10月17日から2018年3月31日まで実施された「眼サルコイドーシスに伴うぶどう膜炎患者の実態調査」（自017-0181）で情報を利用させていただいた患者さん（2010年1月1日から2015年12月31日までの間に北海道大学病院眼科および横浜市立大学病院眼科に通院又は入院したサルコイドーシスに伴うぶどう膜炎の患者さん）

初診時において年齢が10歳から90歳の方。

#### ○利用する情報

以下の項目について、2015年12月31日までの情報を利用させていただきます。

年齢、性別、診断名、診断方法、眼所見、眼炎症所見が持続した期間、治療経過（ステロイド薬・免疫抑制剤の使用状況、眼科手術）、眼合併症、最終矯正視力と視野、その原因と思われる眼所見

### [研究実施期間]

実施許可日（情報の利用開始：2026年1月頃）～2028年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院 眼科 担当医師 鈴木 佳代

電話 011-706-5944 FAX 011-706-5944